

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

令和元年 12 月 30 日
村山 章

神社仏閣の数はコンビニの数よりも多いと聞いたことがあったので、ネットで調べてみました。文化庁文化庁宗務課が行う「宗教統計調査」(令和元年度)によると、神社がおよそ 84,600 社、お寺はおよそ 77,000 社で、合計すると 161,600 社もあるそうです。

(一社)日本フランチャイズ協会による調査(令和元年 11 月)でコンビニの数は 5 万 6 千弱と示されていますので、神社仏閣の数はその約 2.9 倍もあることになります。都道府県で神社仏閣の数が一番多いのは愛知県ですが、その理由として古くから繁栄し人口が多かった点や徳川家による寺院の保護などが挙げられます。神道の宗教施設である神社は初詣や七五三など生活と深く関わり、仏教の宗教施設であるお寺は葬儀、法事を行う場所として欠かせません。いずれも必要性があって存続してきたわけですね。また、神道系の教師数約 7.2 万人に対し仏教の教師数は約 35.5 万人にも上るというデータもあります。

神社には鏡があります。「かがみ」という呼称の真ん中にある「が(我)」の文字を取ると「かみ(神)」になります。西田幾太郎氏の「善の研究」のなかに「神とは意識に内在する普遍的統一性」という一節があります。私は、倫理・道徳に基づいて、色んな意味で自他の利益につながることを普遍的統一性と勝手に解釈しています。鏡に映るありのままの自分の姿は、自分自身の神と向かい合い、自分を振り返るためにあると考えてよいのではないのでしょうか。昔は、どこの家庭にも仏壇と神棚があり、私も子供の頃、親に拝むように言われた記憶があります。

近年、私たちは物の豊かさだけを求め、心の豊かさをないがしろにしてきたのかもしれない。外交の舞台でも物の豊かさを求めて盛んに争っています。しかし、物の豊かさは人の幸福と比例しません。近くに神社仏閣が多数あるのですから、時間を見つけて参拝しましょう。心のやすらぎを得ることができます。